

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	兵庫県立 川西北陵高等学校 職・氏名 教諭 小宮山 宏之	研究チーム名 (化学入試問題研究会)
-----------------	---------------------------------	-------------------------

研究テーマ分類番号 (15)

(1)研究テーマ
兵庫県内の化学担当教員が分担をして、近畿地区の各大学の昨年度の化学入試問題について検討する。
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>研究の目的としては、次の2点があります。</p> <p>ア 大学入試問題を高校と大学の接点ととらえ、高校側の意見を大学側へ伝える。</p> <p>イ 高校の教員の問題作成、問題解決能力の向上を図る。</p> <p>検討結果は、日本化学会近畿支部を通じて各大学へ送付しました。また、まとめた冊子を作成し、日本化学会近畿支部化学教育協議会が主催する「平成22年度大学化学入試問題をめぐる大学 - 高等学校交流会」の資料として提出しました。この交流会は、その年度の入試問題作成委員の大学の教員と、近畿地区の兵庫県、大阪府、京都府、奈良県の高校の教員が、入試問題を題材にして化学教育のあり方や方向性を探るものです。</p> <p>研究経過</p> <p>4月 8日 県内40人の化学担当の教員に、それぞれの大学についての入試問題検討を、大学への問題送付願いの文書と共に依頼しました。</p> <p>6月 4日 検討結果を各先生方より、A4一枚の文書にて事務局に集約しました。</p> <p>6月10日 日本化学会近畿支部化学教育協議会(大阪教育大学)に検討結果を冊子にして送付しました。</p> <p>6月13日 神戸高校にて研究チームの先生方の出席のもと、兵庫県内検討会を実施しました。この会議を受けて、問題検討結果を修正しました。</p> <p>6月27日 検討結果をまとめた冊子(A4版42ページ)を作成しました。</p> <p>7月 9日 大阪科学技術センターにて、平成22年度大学化学入試問題をめぐる大学 - 高等学校交流会へ参加しました。兵庫県から11名の先生方が出席し、大阪府、京都府、奈良県などの高校の先生、各大学の入試問題担当者を含め、130名ほどの方々で、4時間にわたって交流会を実施しました。</p> <p>7月14日 検討結果をまとめた冊子を配布しました。</p>